

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-83549

(P2000-83549A)

(43) 公開日 平成12年3月28日 (2000.3.28)

(51) Int.Cl.⁷

A 0 1 K 97/10

識別記号

F I

A 0 1 K 97/10

テマコード* (参考)

B 2 B 1 0 9

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平10-256962

(22) 出願日 平成10年9月10日 (1998.9.10)

(71) 出願人 598124364

有限会社 湘南計装

神奈川県横須賀市グリーンハイツ5番5-202

(72) 発明者 矢ヶ部 征夫

神奈川県横須賀市グリーンハイツ5番5-202

(74) 代理人 100071870

弁理士 落合 健 (外1名)

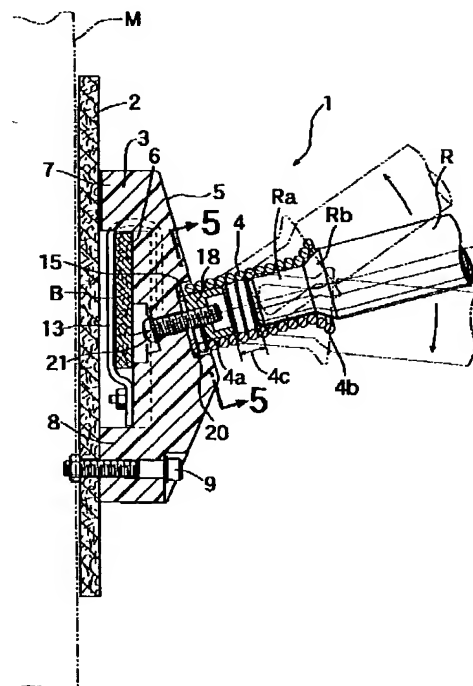
Fターム(参考) 2B109 CA02

(54) 【発明の名称】 釣り竿用支持具

(57) 【要約】

【課題】 釣り人が装着して釣り竿を支持し、その釣り竿を回転は勿論、上下及び左右方向へ容易に、しかも衣服を傷めることなく振ることができるようにした、釣り竿用支持具を提供する。

【解決手段】 当て板2と、この当て板2を釣り人Mの胴体に装着する装着手段14と、当て板2に設けられる支持台3と、この支持台3に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒4とを備え、この支持筒4が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿Rの基端部Raを回転可能支持すると共に、該支持筒4の撓みにより釣り竿Rの上下及び左右方向への振れを可能にする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 当て板(2)と、この当て板(2)を釣り人(M)の胴体に装着する装着手段(14)と、前記当て板(2)に設けられる支持台(3)と、この支持台(3)に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒(4)とを備え、この支持筒(4)が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿(R)の基端部(Ra)を回転可能に支持すると共に、該支持筒(4)の撓みにより釣り竿(R)の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成されることを特徴とする、釣り竿用支持具。

【請求項2】 請求項1記載の釣り竿用支持具において、前記支持筒(4)への釣り竿(R)の基端部(Ra)の嵌合深さを規制すべく、該支持筒(4)の先端に、前記釣り竿(R)の基端部(Ra)の上端に連なる環状肩部(Rb)を支承する拡張部(4b)を形成したことを特徴とする、釣り竿用支持具。

【請求項3】 請求項1記載の釣り竿用支持具において、前記装着手段(14)を、前記当て板(2)及び支持台(3)間に形成されて、該当て板(2)を釣り人(M)の腰ベルト(B)に掛け止めるベルト掛け止め部(15)で構成したことを特徴とする、釣り竿用支持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、釣り人が自分の胴体で釣り竿の基端を支持して、その釣り竿を上下及び左右方向へ容易に振ることができるようにした、釣り竿用支持具に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、釣り針に掛かった魚を釣り上げるまでは、水中での魚の動きに応じて釣り竿を上下及び左右方向に振って、魚の疲労を回るものであるが、その際、従来では、釣り人が釣り竿を抱えたり、腹部で釣り竿の基端を直接支えていたりしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、釣り人が釣り竿を抱えたり、腹部で釣り竿の基端を直接支えながら釣り竿を上下左右に振ることは、特に大ものを釣り上げるときに容易ではない上、衣服を傷めることもある。

【0004】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたもので、釣り人が装着して釣り竿を支持し、その釣り竿を回転は勿論、上下及び左右方向へ容易に、しかも衣服を傷めることなく振ることができるようにした、釣り竿用支持具を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の釣り竿用支持具は、当て板と、この当て板を釣り人の胴体に装着する装着手段と、前記当て板に設

けられる支持台と、この支持台に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒とを備え、この支持筒が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿の基端部を回転可能に支持すると共に、該支持筒の撓みにより釣り竿の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成されることを第1の特徴とする。

【0006】この第1の特徴によれば、釣り人が当て板を胴体に当接させた状態で支持筒に釣り竿の基端部を嵌合するだけで、釣り人は片手でその釣り竿を通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができる。しかも、釣り人は、釣り竿を支持筒内周面に案内させて自由に回転することができる上、コイルばねからなる支持筒を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿を上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもできる。その際、支持筒の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができる。また、このような操作中、釣り竿から支持筒に働く荷重は当て板で受けて、釣り人の胴体の広い範囲に分散させるので、衣服の損傷を防ぐことができると共に、釣り人の疲労軽減を図ることができる。

【0007】また本発明は、第1の特徴に加えて、前記支持筒への釣り竿の基端部の嵌合深さを規制すべく、該支持筒の先端に、前記釣り竿の基端部の上端に連なる環状肩部を支承する拡張部を形成したことを第2の特徴とする。

【0008】この第2の特徴によれば、拡張部が釣り竿の環状肩部を支承して釣り竿基端部の支持筒への嵌合深さを規制することで、支持筒には、釣り竿と嵌合しない良好な撓み部を確実に形成することができる。しかも拡張部は案内機能を発揮して、支持筒への釣り竿基端部の嵌合を容易ならしめることができる。

【0009】さらに本発明は、第1の特徴に加えて、前記装着手段を、前記当て板及び支持台間に形成されて、これら当て板及び支持台を釣り人の腰ベルトに掛け止め得るベルト掛け止め部で構成したことを第3の特徴とする。

【0010】この第3の特徴によれば、釣り人は、自分の腰ベルトを利用して、当て板を胴体に当接させた状態に簡単に保持することができる。

【0011】

【実施例の形態】本発明の実施の形態を、添付図面に示す本発明の実施例に基づいて説明する。

【0012】図1～図6は本発明の第1実施例を示すもので、図1は釣り竿用支持具の使用状態図、図2は上記釣り竿用支持具の正面図、図3は図2の3-3線断面図、図4は図1の4-4線断面図、図5は図4の5-5線断面図、図6は上記釣り竿用支持具の装着要領説明図である。また図7及び図8は本発明の第2実施例を示すもので、図7は釣り竿用支持具の正面図、図8は図7の

10

20

30

40

50

8-8線断面図である。

【0013】先ず、図1～図6により本発明の第1実施例について説明する。

【0014】図1に示すように、本発明の釣り竿用支持具1は、釣り人Mがその胴体に装着して使用するものである。

【0015】図2～図5において、上記釣り竿用支持具1は、当て板2、この当て板2の前面に取付けられる支持台3及び、この支持台3の前面に固着される支持筒4を主たる構成要素とする。

【0016】当て板2は皮革又は合成樹脂製で、剛性と適度な可撓性とを併せ持つものであり、釣り人Mの胴体の適所、例えば腹部や腰部に当接させ得る大きさに形成される。

【0017】支持台3は合成樹脂製で、その前面には、上向きに傾斜する支持筒取付け面5が形成され、また後面には、溝状のベルト掛け止め部6を画成する上下一対の凸部7、8が形成される。支持台3は、これら凸部7、8を当て板2の前面に対向させると共に、下方の凸部8のみにおいてボルト9により当て板2と結合される。したがって、上方の凸部7と当て板2との間は、当て板2の撓みにより開閉が可能であり、その間を通して釣り人Mの腰ベルトBをベルト掛け止め部6に挿入し得るようになっている。

【0018】また支持台3には、ベルト掛け止め部6の内面に沿って延びる左右一対の鋸部11、11が一体に形成され、これら鋸部11、11の各前面には面ファスナ12aが接着され、その後面には、各鋸部11を上方から跨ぐように折り曲げ可能なストラップ13の一端が固定され、その他端部には、上記面ファスナ12aと結合し得る面ファスナ12bが接着される。

【0019】以上において、ベルト掛け止め部6、ストラップ13及び面ファスナ12a、12bは、当て板2を釣り人Mの胴体に装着する装着手段14を構成する。

【0020】支持台3の上向き傾斜の支持筒取付け面5には位置決め凹部15が形成され、この位置決め凹部15において支持筒4の一端が支持台3に固着される。

【0021】支持筒4は、適度な可撓性を備えるべく、密着コイルばねから構成されるもので、その一端には、ばね線材の端末を半径方向内方へ屈曲させて取付け片4aが形成され、その他端部には、ばねの巻き径を外方に向かって増大させたテーパ状の拡張部4bが形成される。

【0022】この支持筒4の一端部内周面にはナット18が嵌合され、このナット18は、前記取付け片4aに係合させる係止溝19を一端面に有する。このナット18は、平ワッシャ20を介して前記位置決め凹部15の底面に押し当てた状態で、支持台3を後方から貫通するボルト21と螺着される。こうして、前記取付け片4aは平ワッシャ20を介して支持台3に固着され、支持筒

4は、先端の拡張部4bを前方上向きにした傾斜姿勢に保持される。

【0023】この支持筒4は、その内周面に釣り竿Rの基端部Raを回転自在に嵌合させるもので、その基端部Raの上端には、それを支持筒4に一定深さまで嵌合したとき前記拡張部4bに支承されるテーパ状の環状肩部Rbが連設される。こうして、支持筒4には、ナット18及び釣り竿Rが嵌合されない自由な撓み部4cが確保されるようになっている。

10 【0024】次にこの実施例の作用を説明する。

【0025】釣り竿用支持具1の装着に当たっては、図6に示すように、先ず、左右両方のストラップ13、13を上方へ伸展させ、これらストラップ13、13及び当て板2を、釣り人Mの胴体とズボンの腰ベルトBとの間に下方から挟み込ながら、その腰ベルトBを支持台3後面のベルト掛け止め部6に収め、次いで両ストラップ13、13を前方へ折り曲げて、それらの面ファスナ12b、12bを鋸部11、11の面ファスナ12a、12aに重ねて結合する。このような腰ベルトBの利用により、釣り竿用支持具1は釣り人Mの胴体に容易に装着することができ、その当て板2を胴体の所望箇所への当接状態に保持することができる。

【0026】次に、魚釣りに際して、この釣り竿用支持具1の支持筒4に釣り竿Rの基端部Raを嵌合するのであるが、その嵌合は、支持筒4先端の拡張部4bの誘導作用により、これを容易に行うことができる。

【0027】而して、釣り竿Rの基端部Raは、前方上向き傾斜の支持筒4に支持されるので、釣り人Mは片手でその釣り竿Rを通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができる。

【0028】しかも、釣り人Mは、釣り竿Rを支持筒4内周面に案内させて自由に回転することができるので、釣り竿Rの回転によりリールの位置をスムーズに変えることができる。その上、支持筒4を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿Rを上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもできる。その際、支持筒4の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができる。したがって、釣り針に掛かった魚の動きに応じて、釣り竿Rを片方の手をもって上下、左右に容易に振ることができるので、他方の手によるリール操作も容易に行うことができる。

【0029】この場合、特に、支持筒4の拡張部4bが釣り竿Rの環状肩部Rbを支承することにより、支持筒4には、ナット18及び釣り竿Rが嵌合されない自由な撓み部4cが確保されるので、その撓み部により安定した撓み特性を支持筒4に付与できて、良好な操作フィーリングを得ることができる。

【0030】また、このような操作中、釣り竿Rから支持筒4に働く荷重は当て板2で受け止められ、釣り人Mの胴体の広い範囲に分散することになるから、大型の魚

20

30

40

50

を釣り上げるときでも、釣り人Mの衣服の損傷を防ぐことができる。と、釣人Mの疲労軽減を図ることができる。

【0031】次に、図7及び図8により、本発明の第2実施例について説明する。

【0032】この第2実施例では、支持台3が、当て板2にボルト9で固着される合成樹脂製の支持台本体3aと、この支持台本体3aの前面にボルト9、25で固着される銅板製の傾斜板3bとから構成され、その傾斜板3bの屈曲成形により、その前面に支持筒取付け面5が形成される。この支持筒取付け面5には、位置決め凹部15を画成するカラー26が溶接され、このカラー26内で支持筒4の一端が傾斜板3bにナット18及びボルト21により固着される。その他の構成は、前実施例と略同様であるので、図中、前実施例との対応部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。

【0033】この第2実施例によれば、支持筒取付け面5の傾斜角度が異なる数種の傾斜板3bを用意しておき、これらを適宜選択して支持台本体3aに固着することにより、釣り条件や釣り人Mの好みに応じた角度の支持筒4を備えた釣り竿用支持具1を比較的安価に提供することができる。

【0034】本発明は、上記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々の設計変更が可能である。例えば、装着手段14としてサスペンダを用い、当て板2を釣り人Mの肩から吊り下げるようにすることもできる。

【0035】

【発明の効果】以上のように本発明の第1の特徴によれば、釣り竿用支持具は、当て板と、この当て板を釣り人の胴体に装着する装着手段と、前記当て板に設けられる支持台と、この支持台に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒とを備え、この支持筒が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿の基端部を回転可能に支持すると共に、該支持筒の撓みにより釣り竿の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成されるので、釣り人が当て板を胴体に当接させた状態で支持筒に釣り竿の基端部を嵌合するだけで、釣り人は片手でその釣り竿を通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができ、また釣り竿を支持筒内周面に案内させて自由に回転することができる。さらに支持筒を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿を上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもでき、その際、支持筒の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができ

る。しかも、釣り竿から支持筒に働く荷重を当て板で受けて、釣り人の胴体の広い範囲に分散させて、衣服の損傷を防ぐことができると共に、釣り人の疲労軽減を図ることができる。

【0036】また本発明の第2の特徴によれば、前記支持筒への釣り竿の基端部の嵌合深さを規制すべく、該支持筒の先端に、前記釣り竿の基端部の上端に連なる環状肩部を支承する拡径部を形成したので、支持筒には、釣り竿と嵌合しない良好な撓み部を確保して、安定した撓み特性を得ることができ、しかも拡径部の案内作用により、支持筒への釣り竿基端部の嵌合を容易ならしめることができる。

【0037】さらに本発明の第3の特徴によれば、前記装着手段を、前記当て板及び支持台間に形成されて、これら当て板及び支持台を釣り人の腰ベルトに掛け止め得るベルト掛け止め部で構成したので、釣り人は、自分の腰ベルトを利用して、当て板を胴体に当接させた状態に簡単に保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係る釣り竿用支持具の使用状態図。

【図2】上記釣り竿用支持具の正面図。

【図3】図2の3-3線断面図。

【図4】図1の4-4線断面図。

【図5】図4の5-5線断面図。

【図6】上記釣り竿用支持具の装着要領説明図。

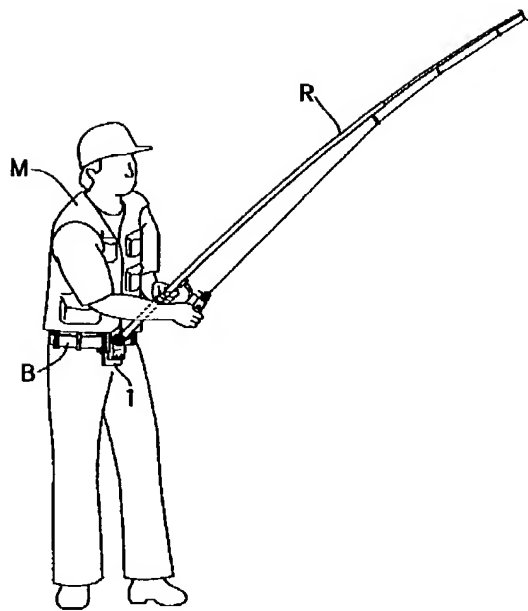
【図7】本発明の第1実施例に係る釣り竿用支持具の正面図。

【図8】図7の8-8線断面図。

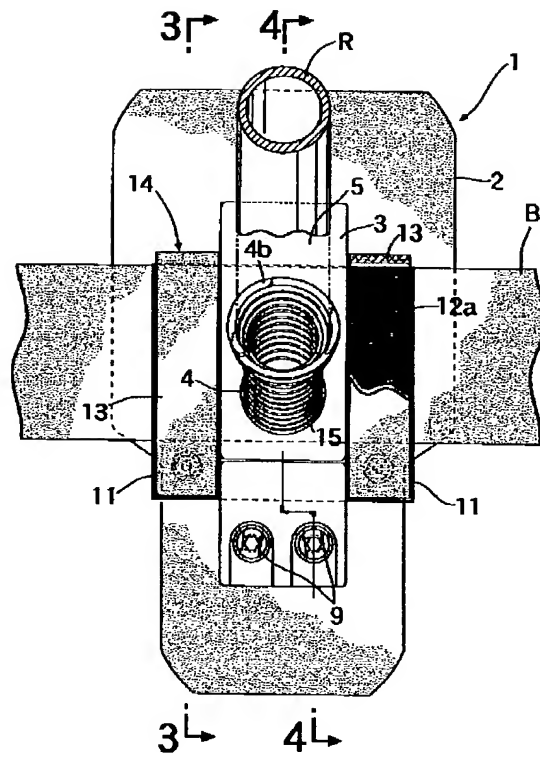
【符号の説明】

- B・・・腰ベルト
- M・・・釣り人
- R・・・釣り竿
- Ra・・・釣り竿の基端部
- Rb・・・釣り竿の環状肩部
- 1・・・釣り竿用支持具
- 2・・・当て板
- 3・・・支持台
- 4・・・支持筒
- 4a・・・取付け片
- 4b・・・拡径部
- 4c・・・撓み部
- 5・・・取付け面
- 6・・・ベルト掛け止め部
- 14・・・装着手段

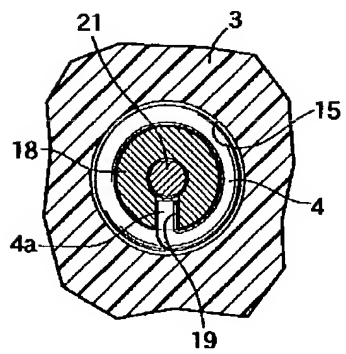
【図1】



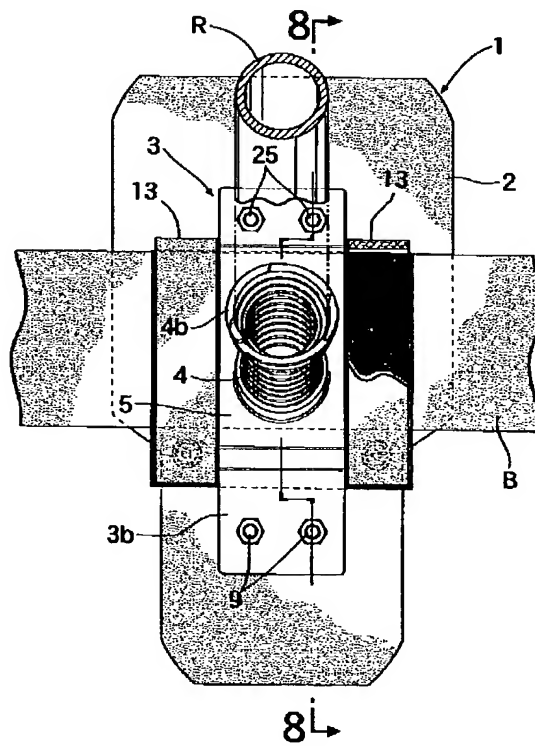
【図2】



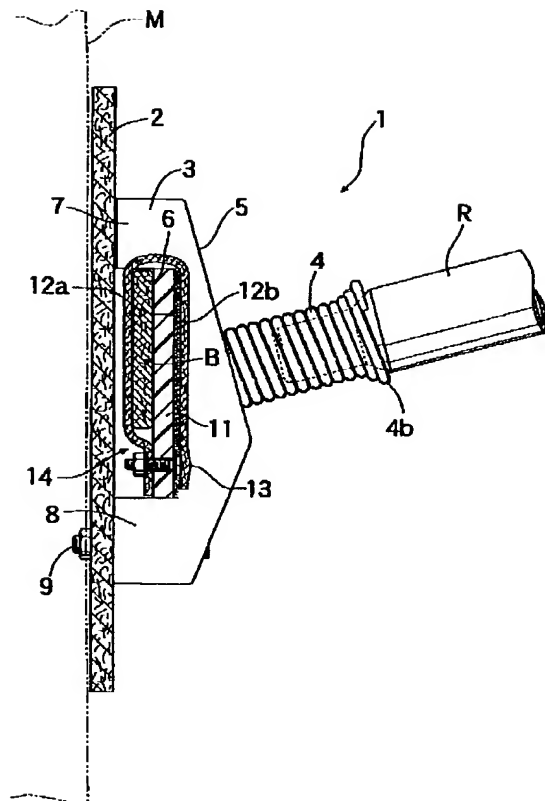
【図5】



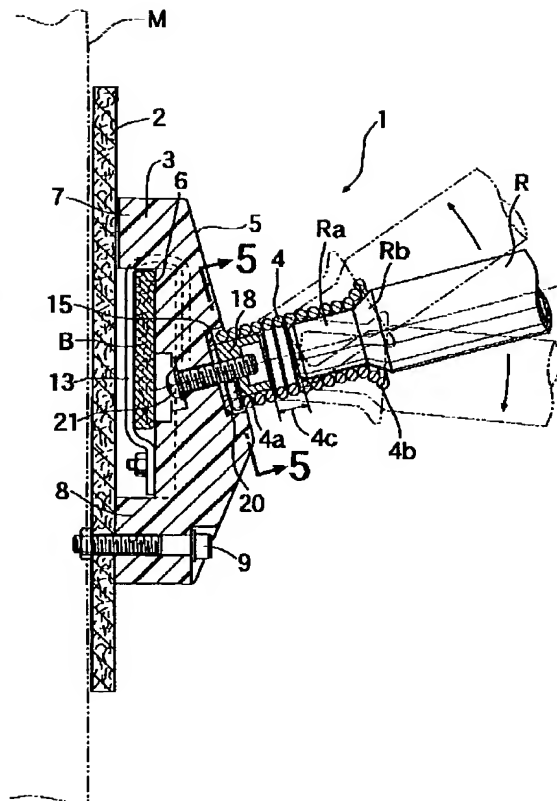
【図7】



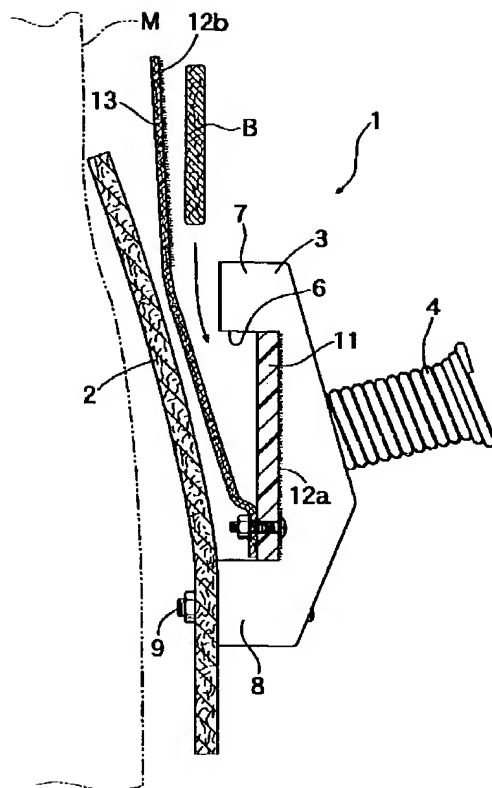
【図3】



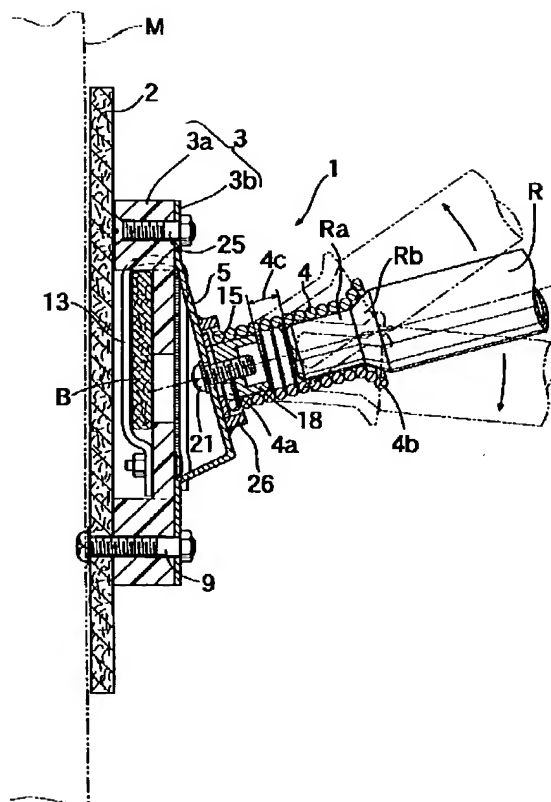
【図4】



【図6】



【図8】



【手続補正書】

【提出日】平成11年6月21日(1999.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】釣り竿用支持具

【特許請求の範囲】

【請求項1】 当て板(2)と、この当て板(2)を釣り人(M)の胴体に装着する装着手段(14)と、前記当て板(2)に設けられる支持台(3)と、この支持台(3)に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒(4)とを備え、この支持筒(4)が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿(R)の基端部(Ra)を回転可能支持すると共に、該支持筒(4)の撓みにより釣り竿(R)の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成され、前記支持筒(4)への釣り竿(R)の基端部(Ra)の嵌合深

さを規制すべく、該支持筒(4)の先端に、前記釣り竿(R)の基端部(Ra)の上端に連なる環状肩部(Rb)を支承する拡径部(4b)を形成したことを特徴とする、釣り竿用支持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、釣り人が自分の胴体で釣り竿の基端を支持して、その釣り竿を上下及び左右方向へ容易に振ることができるようにした、釣り竿用支持具に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、釣り針に掛かった魚を釣り上げるまでは、水中での魚の動きに応じて釣り竿を上下及び左右方向に振って、魚の疲労を図るものであるが、その際、従来では、釣り人が釣り竿を抱えたり、腹部で釣り竿の基端を直接支えていたりしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、釣り人が釣り竿を抱えたり、腹部で釣り竿の基端を直接支えながら釣り竿を上下左右に振ることは、特に大ものを釣り

上げるときに容易ではない上、衣服を傷めることもある。

【0004】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたもので、釣り人が装着して釣り竿を支持し、その釣り竿を回転は勿論、上下及び左右方向へ容易に、しかも衣服を傷めることなく振ることができるようにした、釣り竿用支持具を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の釣り竿用支持具は、当て板と、この当て板を釣り人の胴体に装着する装着手段と、前記当て板に設けられる支持台と、この支持台に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒とを備え、この支持筒が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿の基端部を回転可能支持すると共に、該支持筒の撓みにより釣り竿の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成され、前記支持筒への釣り竿の基端部の嵌合深さを規制すべく、該支持筒の先端に、前記釣り竿の基端部の上端に連なる環状肩部を支承する拡張部を形成したことを特徴とする。

【0006】上記特徴によれば、釣り人が当て板を胴体に当接させた状態で支持筒に釣り竿の基端部を嵌合するだけで、釣り人は片手でその釣り竿を通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができる。しかも、釣り人は、釣り竿を支持筒内周面に案内させて自由に回転することができる上、コイルばねからなる支持筒を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿を上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもできる。その際、支持筒の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができる。また、このような操作中、釣り竿から支持筒に働く荷重は当て板で受けて、釣り人の胴体の広い範囲に分散させるので、衣服の損傷を防ぐことができると共に、釣り人の疲労軽減を図ることができる。

【0007】また特に拡張部が釣り竿の環状肩部を支承して釣り竿基端部の支持筒への嵌合深さを規制することで、支持筒には、釣り竿と嵌合しない良好な撓み部を確実に形成することができる。しかも拡張部は案内機能を発揮して、支持筒への釣り竿基端部の嵌合を容易ならしめることができる。

【0008】

【実施例の形態】本発明の実施の形態を、添付図面に示す本発明の実施例に基づいて説明する。

【0009】図1～図6は本発明の第1実施例を示すもので、図1は釣り竿用支持具の使用状態図、図2は上記釣り竿用支持具の正面図、図3は図2の3-3線断面図、図4は図1の4-4線断面図、図5は図4の5-5線断面図、図6は上記釣り竿用支持具の装着要領説明図である。また図7及び図8は本発明の第2実施例を示すもので、図7は釣り竿用支持具の正面図、図8は図7の

8-8線断面図である。

【0010】先ず、図1～図6により本発明の第1実施例について説明する。

【0011】図1に示すように、本発明の釣り竿用支持具1は、釣り人Mがその胴体に装着して使用するものである。

【0012】図2～図5において、上記釣り竿用支持具1は、当て板2、この当て板2の前面に取付けられる支持台3及び、この支持台3の前面に固着される支持筒4を主たる構成要素とする。

【0013】当て板2は皮革又は合成樹脂製で、剛性と適度な可撓性とを併せ持つものであり、釣り人Mの胴体の適所、例えば腹部や腰部に当接させ得る大きさに成形される。

【0014】支持台3は合成樹脂製で、その前面には、上向きに傾斜する支持筒取付け面5が形成され、また後面には、溝状のベルト掛け止め部6を画成する上下一対の凸部7、8が形成される。支持台3は、これら凸部7、8を当て板2の前面に対向させると共に、下方の凸部8のみにおいてボルト9により当て板2と結合される。したがって、上方の凸部7と当て板2との間は、当て板2の撓みにより開閉が可能であり、その間を通して釣り人Mの腰ベルトBをベルト掛け止め部6に挿入し得るようになっている。

【0015】また支持台3には、ベルト掛け止め部6の内面に沿って延びる左右一対の鐳部11、11が一体に形成され、これら鐳部11、11の各前面には面ファスナ12aが接着され、その後面には、各鐳部11を上方から跨ぐように折り曲げ可能なストラップ13の一端が固定され、その他端部には、上記面ファスナ12aと結合し得る面ファスナ12bが接着される。

【0016】以上において、ベルト掛け止め部6、ストラップ13及び面ファスナ12a、12bは、当て板2を釣り人Mの胴体に装着する装着手段14を構成する。

【0017】支持台3の上向き傾斜の支持筒取付け面5には位置決め凹部15が形成され、この位置決め凹部15において支持筒4の一端が支持台3に固着される。

【0018】支持筒4は、適度な可撓性を備えるべく、密着コイルばねから構成されるもので、その一端には、ばね線材の端末を半径方向内方へ屈曲させて取付け片4aが形成され、その他端部には、ばねの巻き径を外方に向かって増大させたテーパ状の拡張部4bが形成される。

【0019】この支持筒4の一端部内周面にはナット18が嵌合され、このナット18は、前記取付け片4aに係合させる係止溝19を一端面に有する。このナット18は、平ワッシャ20を介して前記位置決め凹部15の底面に押し当てた状態で、支持台3を後方から貫通するボルト21と螺着される。こうして、前記取付け片4aは平ワッシャ20を介して支持台3に固着され、支持筒

4は、先端の拡張部4bを前方上向きにした傾斜姿勢に保持される。

【0020】この支持筒4は、その内周面に釣り竿Rの基端部Raを回転自在に嵌合させるもので、その基端部Raの上端には、それを支持筒4に一定深さまで嵌合したとき前記拡張部4bに支承されるテーパ状の環状肩部Rbが連設される。こうして、支持筒4には、ナット18及び釣り竿Rが嵌合されない自由な撓み部4cが確保されるようになっている。

【0021】次にこの実施例の作用を説明する。

【0022】釣り竿用支持具1の装着に当たっては、図6に示すように、先ず、左右両方のストラップ13、13を上方へ伸展させ、これらストラップ13、13及び当て板2を、釣り人Mの胴体とズボンの腰ベルトBとの間に下方から挟み込ながら、その腰ベルトBを支持台3後面のベルト掛け止め部6に収め、次いで両ストラップ13、13を前方へ折り曲げて、それらの面ファスナ12b、12bを鏝部11、11の面ファスナ12a、12aに重ねて結合する。このような腰ベルトBの利用により、釣り竿用支持具1は釣り人Mの胴体に容易に装着することができ、その当て板2を胴体の所望箇所への当接状態に保持することができる。

【0023】次に、魚釣りに際して、この釣り竿用支持具1の支持筒4に釣り竿Rの基端部Raを嵌合するのであるが、その嵌合は、支持筒4先端の拡張部4bの誘導作用により、これを容易に行うことができる。

【0024】而して、釣り竿Rの基端部Raは、前方上向き傾斜の支持筒4に支持されるので、釣り人Mは片手でその釣り竿Rを通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができる。

【0025】しかも、釣り人Mは、釣り竿Rを支持筒4内周面に案内させて自由に回転することができるので、釣り竿Rの回転によりリールの位置をスムーズに変えることができる。その上、支持筒4を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿Rを上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもできる。その際、支持筒4の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができる。したがって、釣り針に掛かった魚の動きに応じて、釣り竿Rを片方の手をもって上下、左右に容易に振ることができるので、他方の手によるリール操作も容易に行うことができる。

【0026】この場合、特に、支持筒4の拡張部4bが釣り竿Rの環状肩部Rbを支承することにより、支持筒4には、ナット18及び釣り竿Rが嵌合されない自由な撓み部4cが確保されるので、その撓み部により安定した撓み特性を支持筒4に付与できて、良好な操作フィーリングを得ることができる。

【0027】また、このような操作中、釣り竿Rから支持筒4に働く荷重は当て板2で受け止められ、釣り人Mの胴体の広い範囲に分散することになるから、大型の魚

を釣り上げるときでも、釣り人Mの衣服の損傷を防ぐことができると共に、釣り人Mの疲労軽減を図ることができる。

【0028】次に、図7及び図8により、本発明の第2実施例について説明する。

【0029】この第2実施例では、支持台3が、当て板2にボルト9で固着される合成樹脂製の支持台本体3aと、この支持台本体3aの前面にボルト9、25で固着される鋼板製の傾斜板3bとから構成され、その傾斜板3bの屈曲成形により、その前面に支持筒取付け面5が形成される。この支持筒取付け面5には、位置決め凹部15を画成するカラー26が溶接され、このカラー26内で支持筒4の一端が傾斜板3bにナット18及びボルト21により固着される。その他の構成は、前実施例と略同様であるので、図中、前実施例との対応部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。

【0030】この第2実施例によれば、支持筒取付け面5の傾斜角度が異なる数種の傾斜板3bを用意しておき、これらを適宜選択して支持台本体3aに固着することにより、釣り条件や釣り人Mの好みに応じた角度の支持筒4を備えた釣り竿用支持具1を比較的安価に提供することができる。

【0031】本発明は、上記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々の設計変更が可能である。例えば、装着手段14としてサスペンダを用い、当て板2を釣り人Mの肩から吊り下げるようにすることもできる。

【0032】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、釣り竿用支持具は、当て板と、この当て板を釣り人の胴体に装着する装着手段と、前記当て板に設けられる支持台と、この支持台に先端が上向きとなる傾斜姿勢で固着される、コイルばねからなる可撓性を有する支持筒とを備え、この支持筒が、その内周面でそれに嵌合する釣り竿の基端部を回転可能支持すると共に、該支持筒の撓みにより釣り竿の上下及び左右方向への振れを可能にするよう構成されるので、釣り人が当て板を胴体に当接させた状態で支持筒に釣り竿の基端部を嵌合するだけで、釣り人は片手でその釣り竿を通常の上向き角度で楽に安定良く支えることができ、また釣り竿を支持筒内周面に案内させて自由に回転することができる。さらに支持筒を適当に撓ませながら片手のみで釣り竿を上下及び左右方向へ自由に安定良く振ることもでき、その際、支持筒の復元力が作用するため、その竿の振り過ぎを防ぐことができると共に、振り戻しを容易に行うことができる。しかも、釣り竿から支持筒に働く荷重を当て板で受けて、釣り人の胴体の広い範囲に分散させて、衣服の損傷を防ぐことができると共に、釣り人の疲労軽減を図ることができる。

【0033】また前記支持筒への釣り竿の基端部の嵌合深さを規制すべく、該支持筒の先端に、前記釣り竿の基

端部の上端に連なる環状肩部を支承する拡径部を形成したので、支持筒には、釣り竿と嵌合しない良好な撓み部を確保して、安定した撓み特性を得ることができ、しかも拡径部の案内作用により、支持筒への釣り竿基端部の嵌合を容易ならしめることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係る釣り竿用支持具の使用状態図。

【図2】上記釣り竿用支持具の正面図。

【図3】図2の3-3線断面図。

【図4】図1の4-4線断面図。

【図5】図4の5-5線断面図。

【図6】上記釣り竿用支持具の装着要領説明図。

【図7】本発明の第1実施例に係る釣り竿用支持具の正面図。

【図8】図7の8-8線断面図。

【符号の説明】

B・・・腰ベルト
M・・・釣り人
R・・・釣り竿
Ra・・・釣り竿の基端部
Rb・・・釣り竿の環状肩部
1・・・釣り竿用支持具
2・・・当て板
3・・・支持台
4・・・支持筒
4a・・・取付け片
4b・・・拡径部
4c・・・撓み部
5・・・取付け面
6・・・ベルト掛け止め部
14・・・装着手段

PAT-NO: JP02000083549A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000083549 A
TITLE: SUPPORTING TOOL FOR FISHING ROD
PUBN-DATE: March 28, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

| | |
|---------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| YAKABE, MASAO | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| | |
|-----------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| SHONAN KEISO:KK | N/A |

APPL-NO: JP10256962

APPL-DATE: September 10, 1998

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a supporting tool for fishing rod designed to be attached to an angler, support a fishing rod and capable of readily carrying out not only the rotation of the fishing rod but also the shaking thereof in the vertical, left and right directions without damaging clothes.

SOLUTION: This supporting tool for fishing rod R is equipped with a wear plate 2, an attaching means 14 for attaching the wear plate 2 to the trunk of an angler M, a fulcrum 3 installed in the wear plate 2 and a supporting cylinder 4 secured in a tilted posture in which the tip is directed upward to

the fulcrum 3, comprising a coiled spring and having the flexibility. The supporting cylinder 4 is capable of rotatably supporting a base end Ra of the fishing rod R fitting into the inner peripheral surface thereof on the supporting cylinder 4 and shaking the fishing rod R in the vertical, left and right directions by the bending of the supporting cylinder 4.

COPYRIGHT: (C)2000, JPO